

就職白書2014 ー採用活動・就職活動編ー

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：水谷 智之）のよりよい就職・採用の在り方を追求するための研究機関・就職みらい研究所（所長：岡崎 仁美）は、企業の新卒採用活動および学生の就職活動の実態を明らかにするため、全国の新卒採用を実施している企業と、就職活動を行った2014年卒の大学4年生・大学院2年生を対象に、調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

【2014年卒の新卒採用活動の総括】 <企業>

- 12月時点での2014年卒の採用充足状況は、「計画通り」「計画より若干多い」「計画よりかなり多い」を合わせた「充足・計」が58.9%と、前年より3.4ポイント減少した。一方「計画より若干少ない」「計画よりかなり少ない」「現在選考中につき、未定」を合わせた「未充足・計」は39.3%と、前年より3.1ポイント増加した。
- 2014年卒の入社予定者への満足度は、「非常に満足」「どちらかという満足」を合わせた「満足・計」が67.4%と、1.8ポイント減少した。一方「どちらかという不満」「非常に不満」を合わせた「不満・計」は12.4%と、0.9ポイント増加した。
- 企業の『面接者数を100』とした場合、「内定出し者数」は12.7、「内定者数」は8.2となった。また『内定出し者数を100』とした場合、「内定辞退者数」は35.5となった。

【2014年卒予定者の就職活動の総括】 <学生>

- 民間企業を対象に就職活動を行った学生のうち、12月時点で「民間企業に就職する」「民間企業以外に就職する」を合わせた「就職・計」は77.9%と、前年の74.7%より3.2ポイント増加した。
- 就職先確定者の入社予定企業への満足度は、「満足・計」が79.5%、「不満・計」は5.6%と、満足している学生が圧倒的に多かった。
- 入社予定企業と内定を辞退した企業を比較するときにもっとも重視した条件は、「一緒に働きたいと思える人がいるかどうか」「勤務地」「業種」がトップ3となった。

【企業と学生とのギャップ】 <企業・学生>

- 新卒入社者の戦力になるまでの期間について、企業の理想と学生の希望は、ともに「半年～1年未満」であった。しかし、現実には「3年以上」と理想よりも長めとなった。

【2015年卒の新卒採用活動の展望】 <企業>

- 2015年卒の2014年卒と比較した全体的な活動スケジュール時期の見通しは、「同じ」が66.8%と、もっとも多いものの、「早くなる」が26.6%と、2014年卒よりも3.9ポイント増加した。
- 海外の大学（院）卒の外国人学生採用は、全体の13.3%、従業員数5000人以上企業の40.6%が実施する予定であるとした。
- 2015年卒の採用数が満たなかった場合の対応予定は、51.9%が「採用数に満たなくても求める人材レベルは下げない」とした。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア コーポレート戦略統括部 広報グループ宛
Mail: kouho@waku-2.com

【目次】

調査概要	2
I. 2014年卒の新卒採用活動の総括 <企業>	3~6
1) 採用計画の結果/入社予定者への満足度	3
2) 採用活動プロセス毎の実施状況	4
3) 採用活動スケジューループロセス毎の開始時期	5
4) 面接から内定までの状況	6
II. 2014年卒の就職活動の総括 <学生>	7~11
1) 進路確定の状況/入社予定企業への満足度	7
2) 就職活動プロセス毎の実施状況/就職活動中の情報収集	8
3) 就職活動プロセス毎の開始時期	9
4) 企業を選ぶときにもっとも重視した条件	10
5) 内定の取得および辞退状況	11
III. 企業と学生とのギャップ <企業・学生>	12~13
1) 企業の応募学生に対する評価、学生の自己評価	12
2) 企業が採用基準で重視する項目、学生が面接等でアピールする項目	13
3) 企業の戦力化への理想と現実、学生の戦力になりたい希望	13
IV. 2015年卒の新卒採用活動の展望 <企業>	14~15
1) 全体的な活動スケジュールの見通し	14
2) 外国人留学生等の採用実施の見通し	14
3) 採用基準の見通し/採用数が満たなかった場合の対応予定	15

【調査概要】

今回調査：就職白書2014

【企業調査】2014年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握し、関係各位の参考に供する

調査方法：郵送法

調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,303社

調査期間：2013年12月11日～2014年1月31日

回収社数：1,332社（回収率31.0%）

【学生調査】2014年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握し、関係各位の参考に供する

調査方法：WEBアンケート

ー調査協力：株式会社クロス・マーケティング

調査対象：クロス・マーケティング社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女8,672人を対象にした

調査期間：2014年1月6日～2014年1月19日

集計対象：1,610人（回収率18.6%）

前回調査：就職白書2013

【企業調査】2013年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握し、関係各位の参考に供する

調査方法：郵送法

調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,340社

調査期間：2012年12月3日～2013年1月21日

回収社数：1,082社（回収率24.9%）

【学生調査】2013年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握し、関係各位の参考に供する

調査方法：WEBアンケート

ー調査協力：株式会社クロス・マーケティング

調査対象：クロス・マーケティング社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女2,433人を対象にした

調査期間：2013年1月8日～2013年1月15日

集計対象：1,645人（回収率67.6%）

《集計方法について》

■学生調査

大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体の構成比が実際の母集団に近づくよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。大学生と大学院生を合わせた学生全体については、大学生と大学院生の構成比に関して、同様のウェイトバック集計を行ったため、大学生と大学院生の合計値が、学生全体の値と一致しない。

《調査結果を見る際の注意点》

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある
- 図表の一部で、今回調査と前回調査のポイント差をカッコ内に記載した
例：14.2%（-6.7）の場合、前回調査より6.7ポイント減少

《その他》

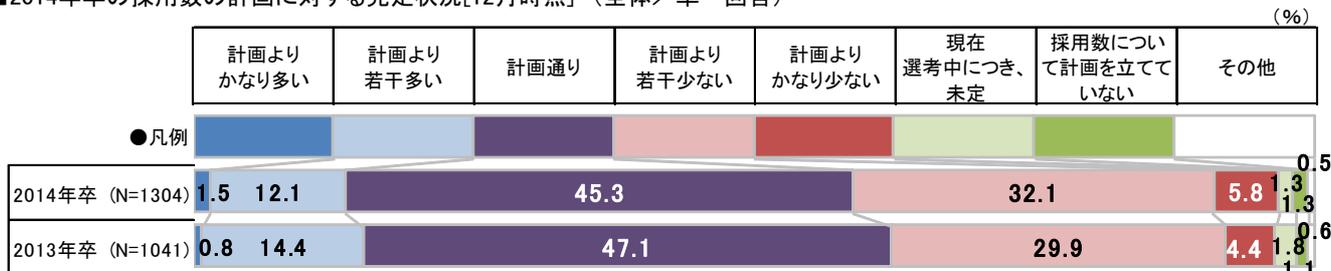
- 2014年卒業や2015年卒業を「2014年卒」「2015年卒」と表記

1) 採用計画の結果/入社予定者への満足度

12月時点での2014年卒の採用数は「計画通り」が45.3%で、「計画より若干多い」の12.1%、「計画よりかなり多い」の1.5%を合わせて58.9%と、半数以上の企業が計画していた採用数を充足したが、前年と比較すると3.4ポイント減少した。一方、未充足企業は、「計画より若干少ない」32.1%、「計画よりかなり少ない」5.8%、「現在選考中につき、未定」1.3%を合わせて39.3%となり、前年より3.1ポイント増加した。

従業員規模別に、充足状況を前年と比較すると、5000人以上企業の「充足・計」は前年を上回ったが、その他の規模のいずれも前年を下回った。

■2014年卒の採用数の計画に対する充足状況[12月時点] (全体/単一回答)



□従業員規模別 2014年卒の採用数の計画に対する充足状況[12月時点]

従業員規模別	総数 (N=今回/前回)	採用数充足・計	採用数未充足・計			現在選考中につき、未定	採用数について計画を立てていない			
			計画よりかなり多い	計画より若干多い	計画通り					
全体	1304/1041	58.9 (-3.4)	1.5 (0.7)	12.1 (-2.3)	45.3 (-1.7)	39.3 (3.1)	32.1 (2.3)	5.8 (1.4)	1.3 (-0.5)	1.3 (0.2)
300人未満	287/228	58.5 (-6.4)	1.7 (1.3)	9.4 (-6.4)	47.4 (-1.3)	38.0 (7.7)	28.9 (3.9)	7.3 (4.2)	1.7 (-0.5)	1.7 (-0.9)
300~999人	422/380	54.7 (-2.6)	2.4 (1.6)	12.8 (-2.7)	39.6 (-1.5)	42.7 (0.8)	33.4 (-0.5)	7.6 (1.8)	1.7 (-0.4)	2.1 (1.6)
1000~4999人	361/277	60.9 (-4.8)	0.3 (-0.8)	13.9 (-0.2)	46.8 (-3.7)	38.8 (4.5)	33.8 (4.9)	4.4 (0.1)	0.6 (-0.5)	0.3 (0.3)
5000人以上	93/68	67.7 (3.0)	1.1 (1.1)	9.7 (2.3)	57.0 (-0.4)	32.3 (-3.0)	26.9 (-1.1)	4.3 (-0.1)	1.1 (-1.9)	— (0.0)

※「その他」は割愛

2014年卒の入社予定者への満足度は、「非常に満足」「どちらかという満足」の「満足・計」が67.4%、「どちらかという不満」「非常に不満」の「不満・計」は12.4%となった。

従業員規模別に見ると、5000人以上企業で「満足・計」が他の規模よりも高いが、前年との比較では8.1ポイント減少し、「どちらともいえない」が8.9ポイント増加した。

■2014年卒の入社予定者への満足度(全体/単一回答)



□従業員規模別 2014年卒の入社予定者への満足度

従業員規模別	総数 (N=今回/前回)	満足度					満足・計	不満・計
		非常に満足	どちらかという満足	どちらともいえない	どちらかという不満	非常に不満		
全体	N=1302/1032	15.6 (-3.4)	51.8 (1.6)	20.2 (0.9)	10.9 (0.3)	1.5 (0.6)	67.4 (-1.8)	12.4 (0.9)
300人未満	N=290/224	16.2 (-3.4)	46.6 (1.5)	20.7 (-3.9)	12.4 (3.0)	4.1 (2.8)	62.8 (-2.0)	16.6 (5.8)
300~999人	N=419/377	16.7 (-1.6)	51.3 (-1.2)	20.5 (3.8)	9.8 (-1.6)	1.7 (0.6)	68.0 (-2.8)	11.5 (-1.0)
1000~4999人	N=361/277	12.7 (-4.2)	57.9 (4.5)	18.8 (0.1)	10.2 (-0.2)	0.3 (-0.1)	70.6 (0.2)	10.5 (-0.3)
5000人以上	N=93/67	19.4 (-12.0)	51.6 (3.9)	19.4 (8.9)	9.7 (0.7)	— (-1.5)	71.0 (-8.1)	9.7 (-0.8)

※カッコ内の数値は前回調査との差
 ※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない

2) 採用活動プロセス毎の実施状況

採用活動プロセス毎の実施率は、いずれも極めて高い値となった。
従業員規模別に見ると、300人未満企業では「説明会・セミナー」が3.3ポイント、「適性検査・筆記試験」が4.5ポイント、それぞれ前年より減少した。
また、1000～4999人企業では、「書類選考」が7.5ポイント増加した。

■採用活動プロセス毎の実施率(全体/それぞれ単一回答)

	実施率 (%)				
	全体 (N=1312)	300人未満 (N=291)	300～999人 (N=426)	1000～4999人 (N=362)	5000人以上 (N=93)
エントリー(採用情報・資料の請求)受け付け	96.1 (0.8)	87.6 (-0.9)	97.9 (2.6)	99.7 (0.4)	100.0 (0.0)
説明会・セミナー	97.5 (-0.7)	91.4 (-3.3)	98.8 (0.1)	100.0 (0.0)	98.9 (-1.1)
書類選考(エントリーシート、履歴書、作文等)	90.9 (1.8)	90.0 (-0.3)	90.4 (-0.9)	92.0 (7.5)	94.6 (-1.0)
適性検査・筆記試験	96.1 (-1.0)	89.3 (-4.5)	97.7 (0.5)	98.1 (-0.9)	98.9 (0.4)
面接	99.8 (-0.1)	99.3 (-0.7)	100.0 (0.3)	99.7 (-0.3)	100.0 (0.0)
内々定・内定出し	99.8 (0.4)	99.0 (1.6)	100.0 (0.3)	100.0 (0.0)	100.0 (0.0)

説明会・セミナーの形態別の実施状況を見ると、「合同説明会・セミナー(その他)」が前年よりも2.1ポイント増加した。
自社の説明会・セミナー(Web上)の実施率は全体で29.2%、従業員規模5000人以上企業では39.1%となった。

■説明会・セミナーの形態別の実施状況(「説明会・セミナー」実施企業/それぞれ単一回答)

		N	実施率 (%)			
			自社の説明会・ セミナー(対面)	自社の説明会・ セミナー (Web上)	合同説明会・セ ミナー(特定学 校で開催)	合同説明会・セ ミナー(その他)
全体		1248	95.4 (0.2)	29.2 (-1.3)	85.7 (0.1)	73.2 (2.1)
従業員 規模	300人未満	247	88.3 (2.0)	27.5 (-0.9)	68.0 (-3.1)	68.0 (0.9)
	300～999人	412	95.6 (-1.4)	28.9 (0.0)	86.9 (-1.4)	71.4 (4.1)
	1000～4999人	360	98.6 (-0.3)	28.6 (-0.8)	92.5 (1.2)	76.7 (-0.1)
	5000人以上	92	98.9 (0.4)	39.1 (-5.6)	95.7 (1.6)	87.0 (1.9)

書類選考を実施している企業のうち、エントリーシートを導入しているのは全体では66.7%であり、いずれの従業員規模においても、「導入している」企業の割合が「導入していない」企業を上回った。
エントリーシート導入率は、従業員規模が大きくなるほど高くなり、300人未満企業の52.2%に対し、5000人以上企業では87.4%であった。

■エントリーシートの導入状況(「書類選考」実施企業/単一回答)

		N	導入率 (%)	
			導入して いる	導入して いない
全体		1142	66.7 (-0.9)	33.3 (0.9)
従業員 規模	300人未満	249	52.2 (-3.9)	47.8 (3.9)
	300～999人	365	66.3 (3.2)	33.7 (-3.2)
	1000～4999人	324	75.9 (-0.1)	24.1 (0.1)
	5000人以上	87	87.4 (-3.3)	12.6 (3.3)

※カッコ内の数値は前回調査との差
※データは無回答サンプルを除いて集計
※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない

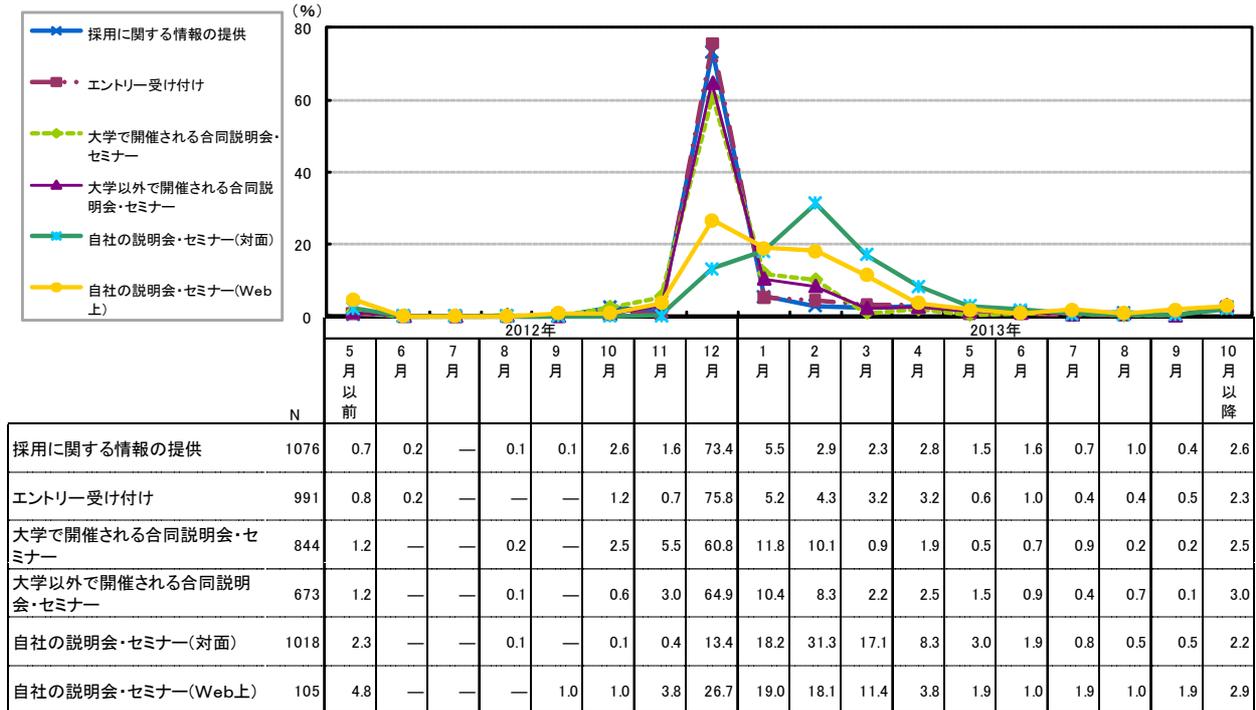
3) 採用活動スケジュール —プロセス毎の開始時期—

採用活動プロセス毎の開始時期で、開始した企業がもっとも多い月を見る。

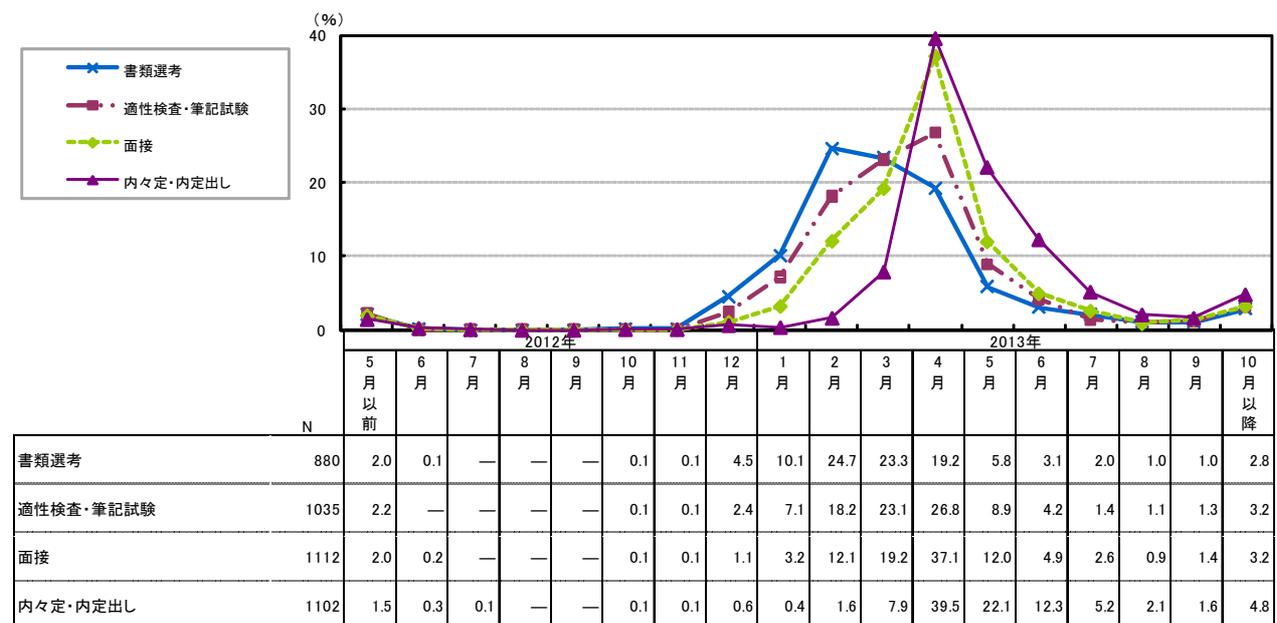
まず『採用広報』について、「採用に関する情報の提供」「エントリー受け付け」「大学で開催される合同説明会・セミナー」「大学以外で開催される合同説明会・セミナー」「自社の説明会・セミナー（Web上）」は「2012年12月」、「自社の説明会・セミナー（対面）」は「2013年2月」となった。

次に、『採用選考』について見ると、「書類選考」は「2013年2月」、「適性検査・筆記試験」「面接」「内々定・内定出し」は「2013年4月」であった。

■採用活動プロセス毎の開始時期(実績) <採用広報> (全体/それぞれ単一回答)



■採用活動プロセス毎の開始時期(実績) <採用選考> (全体/それぞれ単一回答)



※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない

4) 面接から内定までの状況

面接から内定までについて、『面接者数を100』とした場合で見ると、「内定出し者数」は12.7、「内定者数」は8.2となった。

従業員規模別に見ると、規模が大きくなるにつれて、「内定出し者数」の割合は高くなった。また、「内定者数」においても、「内定出し者数」と同じく、規模が大きくなるにつれて、高くなった。

業種別に見ると、建設業で「内定出し者数」が21.4、「内定者数」が13.8と、他の業種よりも高かった。

■「面接者数を100」とした場合の内定出し者数および内定者数の割合(面接から内定まで全回答企業1109社/実数回答)

		面接者数	内定出し者数	内定者数
全体		100	12.7	8.2
従業員規模	300人未満	100	11.4	7.7
	300~999人	100	11.8	7.8
	1000~4999人	100	13.4	8.6
	5000人以上	100	15.6	10.0
業種	建設業	100	21.4	13.8
	製造業	100	11.0	7.6
	流通業	100	11.7	7.1
	金融業	100	12.2	8.2
	サービス・情報業	100	13.9	8.4

次に、『内定出し者数を100』とした場合で見ると、「内定辞退者数」は35.5、「内定者数」は64.5となった。

従業員規模別に見ると、「内定辞退者数」は、比較的規模が大きくなるにつれて高くなった。

業種別に見ると、流通業とサービス・情報業の「内定辞退者数」は、それぞれ39.1、39.3と他の業種よりも高かった。

■「内定出し者数を100」とした場合の内定辞退者数および内定者数の割合(面接から内定まで全回答企業1109社/実数回答)

		内定出し者数	内定辞退者数	内定者数
全体		100	35.5	64.5
従業員規模	300人未満	100	32.8	67.2
	300~999人	100	33.7	66.3
	1000~4999人	100	36.0	64.0
	5000人以上	100	36.0	64.0
業種	建設業	100	35.6	64.4
	製造業	100	31.1	68.9
	流通業	100	39.1	60.9
	金融業	100	32.7	67.3
	サービス・情報業	100	39.3	60.7

※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模や業種の不明・無回答企業があるため、規模別や業種別の計と全体は一致しない

1) 進路確定の状況/入社予定企業への満足度

民間企業を対象に就職活動を行った学生のうち、12月時点で「民間企業に就職する」ことが確定しているのは72.2%で、前年の66.6%よりも5.6ポイント増加、「民間企業以外に就職する」を合わせた「就職・計」は77.9%と、前年の74.7%より3.2ポイント増加した。一方「まだ確定している進路はない」は15.9%と前年の18.7%よりも2.8ポイント減少した。

■民間企業を対象に就職活動を行った学生の進路の確定状況 [12月時点](学生全体/単一回答)

		民間企業に就職する	民間企業以外(公務員、教員、その他団体職員などに就職する)	起業する	大学院などへ進学する	留学する	留年するので卒業しない	まだ確定している進路はない	その他	就職・計
●凡例										
全体	2014年卒 N=1610	72.2	0.1	0.2	5.8	3.6	1.7	15.9	0.6	77.9
	2013年卒 N=1645	66.6	0.2	0.5	8.0	4.1	1.5	18.7	0.4	74.7

□学校種および文理別に見た進路の確定状況 [12月時点]

		就職・計	民間企業に就職する	民間企業以外(公務員、教員、その他団体職員などに就職する)	起業する	大学院などへ進学する	留学する	留年するので卒業しない	まだ確定している進路はない
N=今回/前回									
大学生	文系 843/856	76.2 (3.4)	70.2 (6.2)	6.0 (-2.8)	0.1 (-0.1)	0.9 (-1.1)	0.3 (-0.5)	1.9 (0.2)	20.3 (-2.0)
	理系 411/412	77.9 (3.0)	71.9 (2.8)	6.0 (0.2)	— (-0.4)	9.7 (1.0)	— (-0.1)	1.5 (0.2)	9.6 (-4.6)
大学院生	文系 51/70	64.7 (9.0)	52.9 (11.5)	11.8 (-2.5)	2.0 (2.0)	2.0 (-2.3)	— (0.0)	5.9 (3.0)	23.5 (-12.2)
	理系 305/303	90.8 (1.3)	88.2 (7.0)	2.6 (-5.7)	0.3 (0.3)	1.6 (-1.7)	— (-0.3)	0.3 (-0.7)	6.9 (1.0)

※「その他」は割愛

就職先が確定している学生の入社予定企業への満足度は、「非常に満足」「どちらかという満足」の「満足・計」が79.5%となった。一方「どちらかという不満」「非常に不満」の「不満・計」は5.6%で、「満足・計」が圧倒的に高かった。

■就職先が確定している学生の入社予定企業への満足度(就職先確定者/単一回答)

		非常に満足	どちらかという満足	どちらともいえない	どちらかという不満	非常に不満	満足・計	不満・計
●凡例								
全体	2014年卒 N=1254	33.6	45.9	14.8	4.6	1.0	79.5	5.6
	2013年卒 N=1227	34.3	43.7	17.2	3.5	1.3	78.0	4.8

□学校種および文理別の入社予定企業への満足度

		非常に満足	どちらかという満足	どちらともいえない	どちらかという不満	非常に不満	満足・計	不満・計
N=今回/前回 *参考値								
大学生	文系 643/623	31.3 (-1.0)	46.0 (1.8)	16.7 (-0.8)	4.6 (0.3)	1.3 (-0.4)	77.3 (0.8)	6.0 (0.0)
	理系 320/308	33.8 (-2.1)	46.5 (3.9)	14.2 (-4.2)	5.4 (3.2)	0.2 (-0.7)	80.3 (1.8)	5.6 (2.5)
大学院生	文系 *33/*39	54.5 (26.3)	36.4 (-9.8)	— (-17.9)	3.0 (-2.1)	6.1 (3.5)	90.9 (16.5)	9.1 (1.4)
	理系 277/271	42.6 (1.3)	45.5 (2.0)	8.7 (-3.8)	2.5 (-0.1)	0.7 (0.7)	88.1 (3.2)	3.2 (0.6)

※カッコ内の数値は前回調査との差

2) 就職活動プロセス毎の実施状況/就職活動中の情報収集

就職活動プロセス毎の実施率を見ると、もっとも昨年との差が大きかったのは「内々定・内定を取得する」で、4.2ポイント増加した。

各プロセス実施者の平均実施数を見ると、前年からの変化が目立つのは「OB・OGなど社会人の先輩を訪問する」と「リクルーターと接触する」で、いずれも増加した。

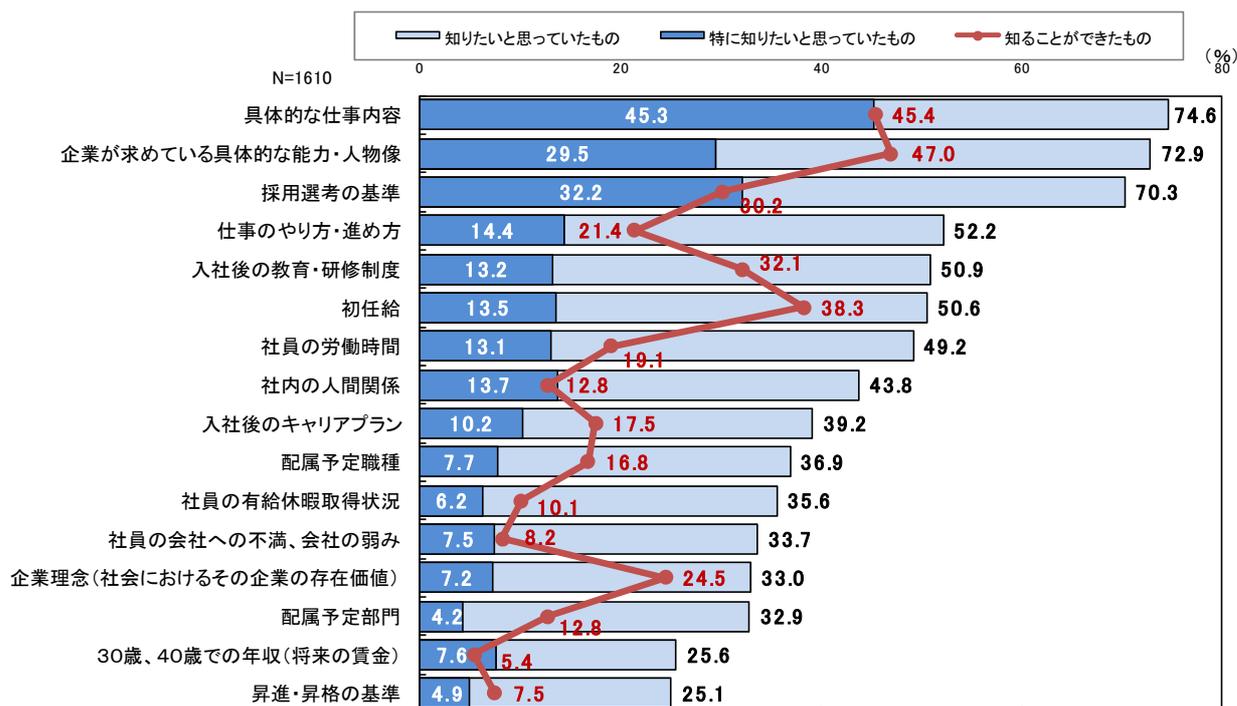
■就職活動プロセス毎の実施状況(実施率:学生全体/それぞれ単一回答、平均数の対象:各プロセスを実施した学生/実数回答)

	実施率(%) N=今回/前回 1610/1645	平均数(実施者ベース)	
		2014年卒	2013年卒
就職に関する情報を収集する	86.5 (-2.2)		
OB・OGなど社会人の先輩を訪問する	28.0 (1.8)	N=450 6.11 社 7.30 人	N=430 2.88 社 3.69 人
リクルーターと接触する	28.2 (2.7)	N=455 6.33 社 7.65 人	N=418 4.05 社 5.87 人
エントリー(採用情報・資料の請求、企業への個人情報提供)をする	73.8 (-0.7)	N=1187 60.17 社	N=1224 59.97 社
大学で開催される合同説明会・セミナーに参加する	69.7 (1.4)	N=1122 6.09 回	N=1123 5.70 回
大学以外で開催される合同説明会・セミナーに参加する	66.6 (1.4)	N=1072 6.24 回	N=1072 6.30 回
個別企業の説明会・セミナー	対面(社内、会場など)で開催されるものに参加する	N=1002 20.10 社	N=1030 21.27 社
	Web上で開催されるものに参加する	N=663 3.84 社	N=648 4.84 社
エントリーシートなどの書類を提出する	74.9 (-0.7)	N=1206 20.99 社	N=1244 22.13 社
適性検査・筆記試験を受ける	74.2 (-0.8)	N=1194 14.66 社	N=1233 15.26 社
面接など対面での選考を受ける	75.1 (-2.4)	N=1209 11.26 社	N=1274 12.01 社
内々定・内定を取得する	79.7 (4.2)	N=1283 1.85 社	N=1242 2.00 社

就職活動中の学生が『知りたいと思っていた』情報は「具体的な仕事内容」74.6%、「企業が求めている具体的な能力・人物像」72.9%、「採用選考の基準」70.3%がトップ3となった。

また『知ることができたもの』も尋ねたが、いずれも『知りたいと思っていた』割合を大きく下回った。

■就職活動中の情報収集(学生全体/「知りたいと思っていたもの」:複数回答、「特に知りたいと思っていたもの」:3つまでの複数回答、「知ることができたもの」:複数回答)



※カッコ内の数値は前回調査との差

3) 就職活動プロセス毎の開始時期

就職活動プロセス毎の開始時期で、開始した学生がもっとも多い月を見る。

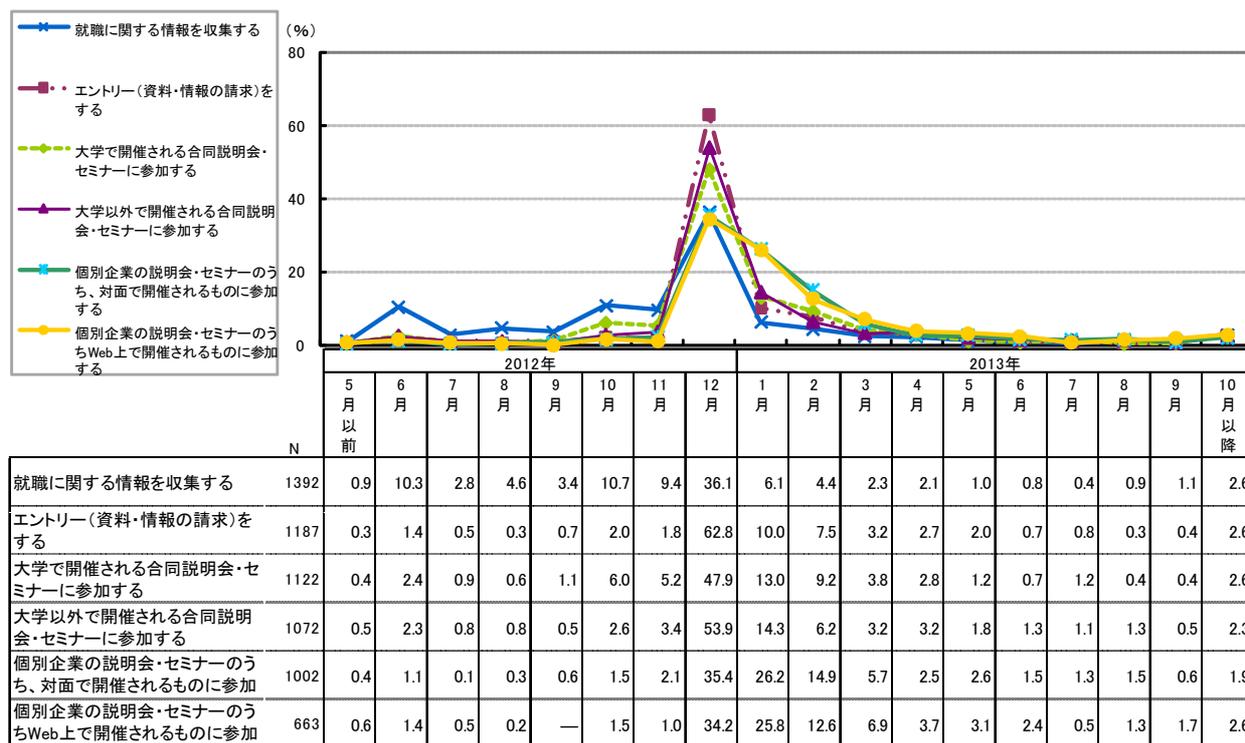
まず『選考前』については、いずれのプロセスも「2012年12月」がもっとも多かった。

『選考以降』については、「エントリーシートなどの書類を提出する」は「2013年1月」で、「適性検査・筆記試験を受ける」は、「2013年1月」「2013年2月」が多かった。

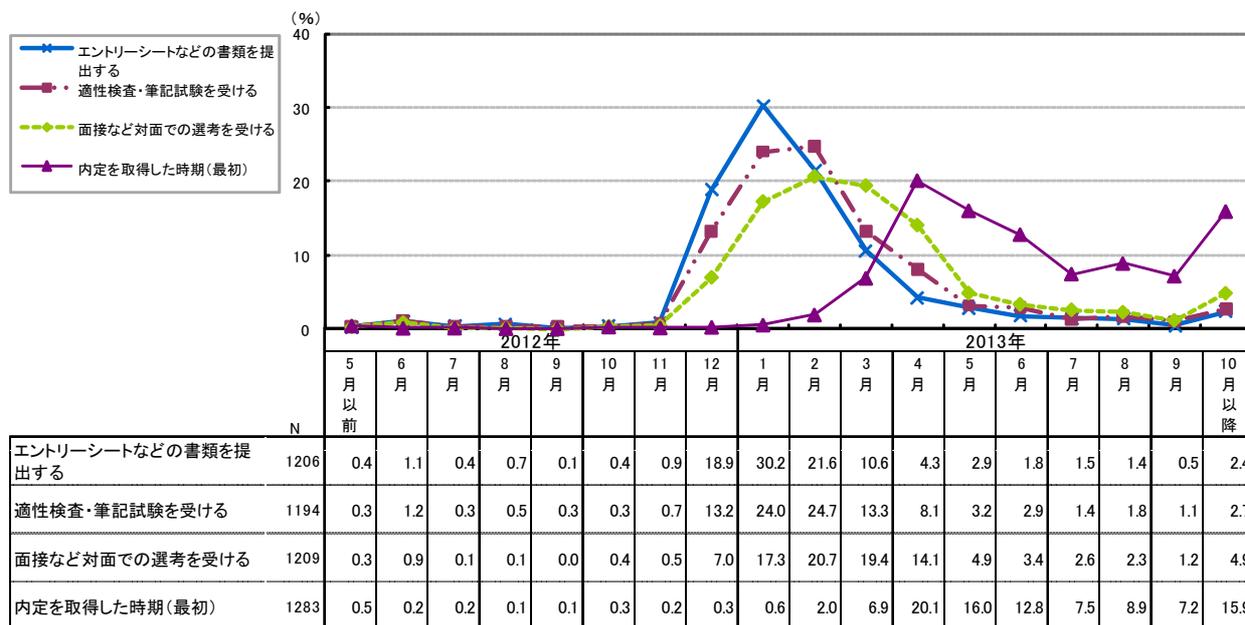
また、「面接など対面での選考を受ける」は「2013年2月」がもっとも多いが「2013年1月」「2013年3月」も比較的高水準であった。

「内定を取得した時期（最初）」は「2013年4月」が多かった。

■就職活動プロセスの開始時期の割合 <選考前> (各プロセスの実施者/それぞれ単一回答)



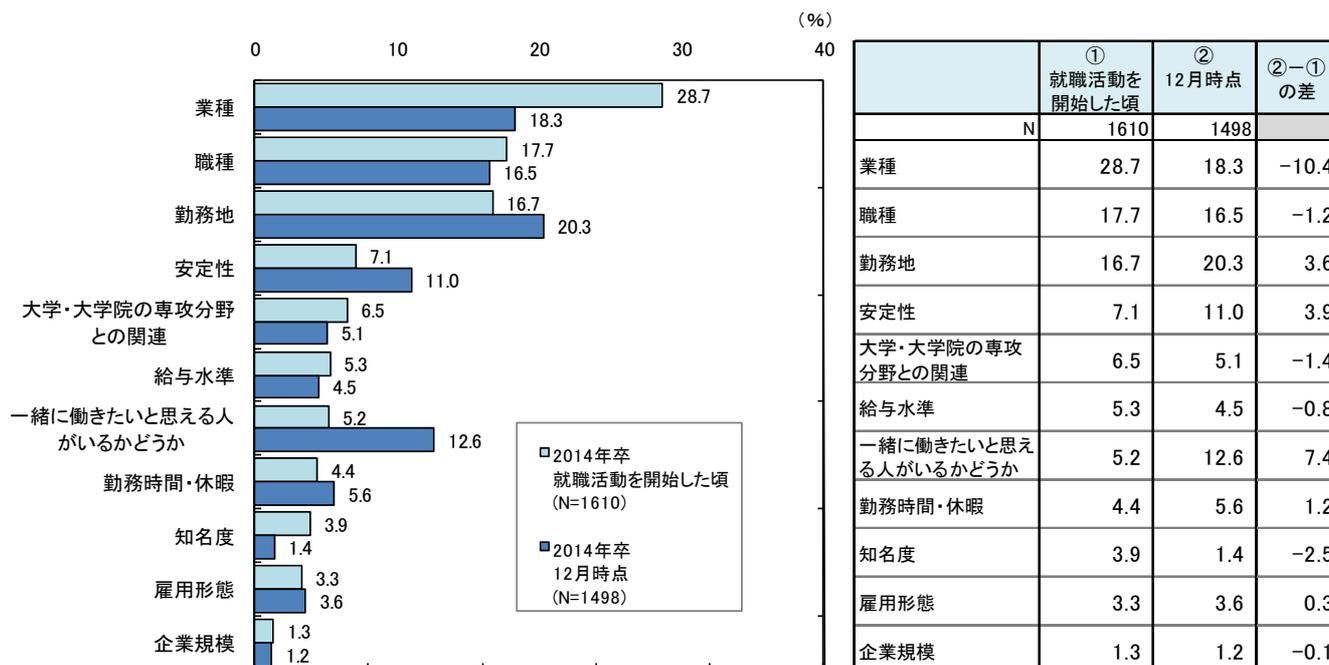
■就職活動プロセスの開始時期の割合 <選考以降> (各プロセスの実施者/それぞれ単一回答)



4) 企業を選ぶときにもっとも重視した条件

企業を選ぶときにもっとも重視した条件について、就職活動を開始した頃と12月時点で見る。就職活動を開始した頃では「業種」「職種」「勤務地」の順で高かったが、12月時点では「勤務地」「業種」「職種」と項目こそ同じだが、順位は入れ替わった。開始した頃と12月時点との差を見ると、「一緒に働きたいと思える人がいるかどうか」が7.4ポイントも増加した一方で、「業種」は10.4ポイントも減少した。

■企業を選ぶときにもっとも重視した条件(①就職活動を開始した頃:学生全体/単一回答、②12月時点:就職先決定者および就職活動継続中の学生/単一回答)



5) 内定の取得および辞退状況

12月時点での内定取得者は79.7%と、前年の75.5%より4.2ポイント増加した。
 一方、内定取得者の平均取得社数は1.85社と、前年の2.00社よりも減少した。
 内定を2社以上取得した学生のうち、内定を辞退したことがあるのは96.5%と、前年の90.3%より6.2ポイント増加した。
 内定を辞退して入社予定企業を決めた学生が、入社予定企業を決める際にもっとも重視した条件は「一緒に働きたいと思える人がいるかどうか」「勤務地」「業種」の順となった。
 トップである「一緒に働きたいと思える人がいるかどうか」は、前年は4位であり、重視度がより高くなった。

■12月時点の内定を取得した企業の有無(学生全体/単一回答)

		(%)		
		N	ある	ない
全 体	2014年卒	1610	79.7	20.3
	2013年卒	1645	75.5	24.5

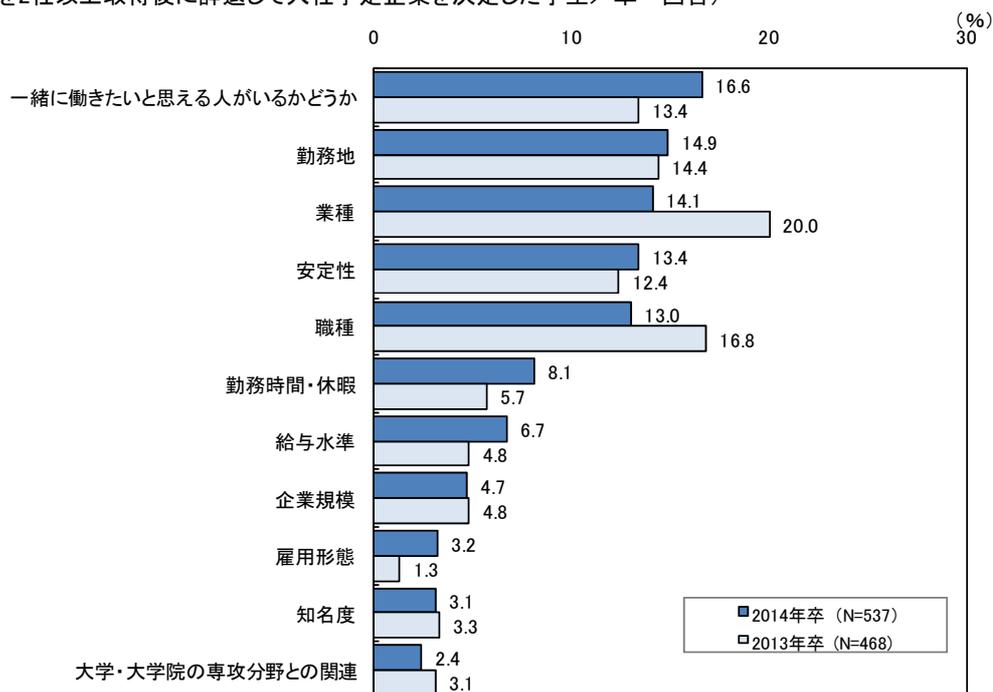
■内定を取得した企業の総数 [12月時点](12月時点で内定を取得している学生/単一回答)

		(%)								平均社数
		N	1社	2社	3社	4社	5社	6社以上		
全 体	2014年卒	1283	55.3	23.8	12.3	3.9	2.4	2.3	1.85社	
	2013年卒	1242	55.5	25.1	11.6	2.3	3.2	2.3	2.00社	

■内定を辞退した企業の有無 (内定を2社以上取得した学生/単一回答)

		(%)		
		N	ある	ない
全 体	2014年卒	575	96.5	3.5
	2013年卒	552	90.3	9.7

■入社予定企業と内定を辞退した企業を比較するときにもっとも重視した条件
 (内定を2社以上取得後に辞退して入社予定企業を決定した学生/単一回答)



1) 企業の応募学生に対する評価、学生の自己評価

企業の応募学生に対する評価と、学生の自己評価について見る。
 まず企業の評価について、「十分・計」が「不十分・計」を上回ったのは、差が大きい順に「働く意欲」「学力」「自己分析」であった。一方「業界研究」と「仕事・職種研究」では「不十分・計」が「十分・計」を上回った。
 次に学生の自己評価について、「十分・計」が「不十分・計」を上回ったのは「働く意欲」と「自己分析」のみであり、他はいずれも「不十分・計」が「十分・計」を上回った。特に差が大きいのは「業界研究」「将来ビジョンの明確さ」であった。
 企業と学生を比較すると、「十分・計」において企業と学生の差が特に大きいのは、「学力」と「働く意欲」であった。

■ 応募学生に対する企業の評価(全体/それぞれ単一回答)

●凡例 N	(%)					① 十分・計	② 不十分・計	①-② 差	
	十分	どちらかという 十分	どちらとも いえない	どちらかという 不十分	不十分				
働く意欲 1294	12.4	54.6		27.6	5.0	0.5	66.9	5.5	61.4
学力 1295	10.5	40.3		38.0	10.6	0.6	50.8	11.2	39.6
将来のビジョン 1291	1.9	23.4	52.8		20.8	1.2	25.3	21.9	3.3
自己分析 1295	3.0	36.8		47.7	11.9	0.6	39.8	12.5	27.3
業界研究 1298	2.8	23.4	44.2		26.4	3.2	26.2	29.6	-3.4
仕事・職種研究 1297	1.2	23.8	49.5		23.0	2.5	25.1	25.4	-0.4
企業研究 1297	2.2	30.8	39.3		25.5	2.2	33.0	27.7	5.3

■ 学生の自己評価: 学生全体/それぞれ単一回答)

●凡例 N	(%)					① 十分・計	② 不十分・計	①-② 差	
	十分	どちらかという 十分	どちらとも いえない	どちらかという 不十分	不十分				
働く意欲 1610	19.1	32.9		27.0	13.0	8.0	52.0	21.0	31.0
大学・大学院生としての学力 1610	7.2	26.8	29.6	25.7	10.6		34.0	36.4	-2.4
将来ビジョンの明確さ 1610	7.8	21.5	28.7	27.1	14.9		29.2	42.1	-12.9
自己分析 1527	10.2	29.6	26.9	21.9	11.4		39.8	33.3	6.5
業界研究 1512	6.7	22.1	28.3	28.5	14.4		28.8	42.9	-14.1
仕事・職種研究 1524	6.9	24.8	32.9	22.4	12.9		31.8	35.3	-3.5
企業研究 1532	8.1	23.3	29.0	25.3	14.3		31.4	39.6	-8.2

■ 企業と学生の「十分・計」の差

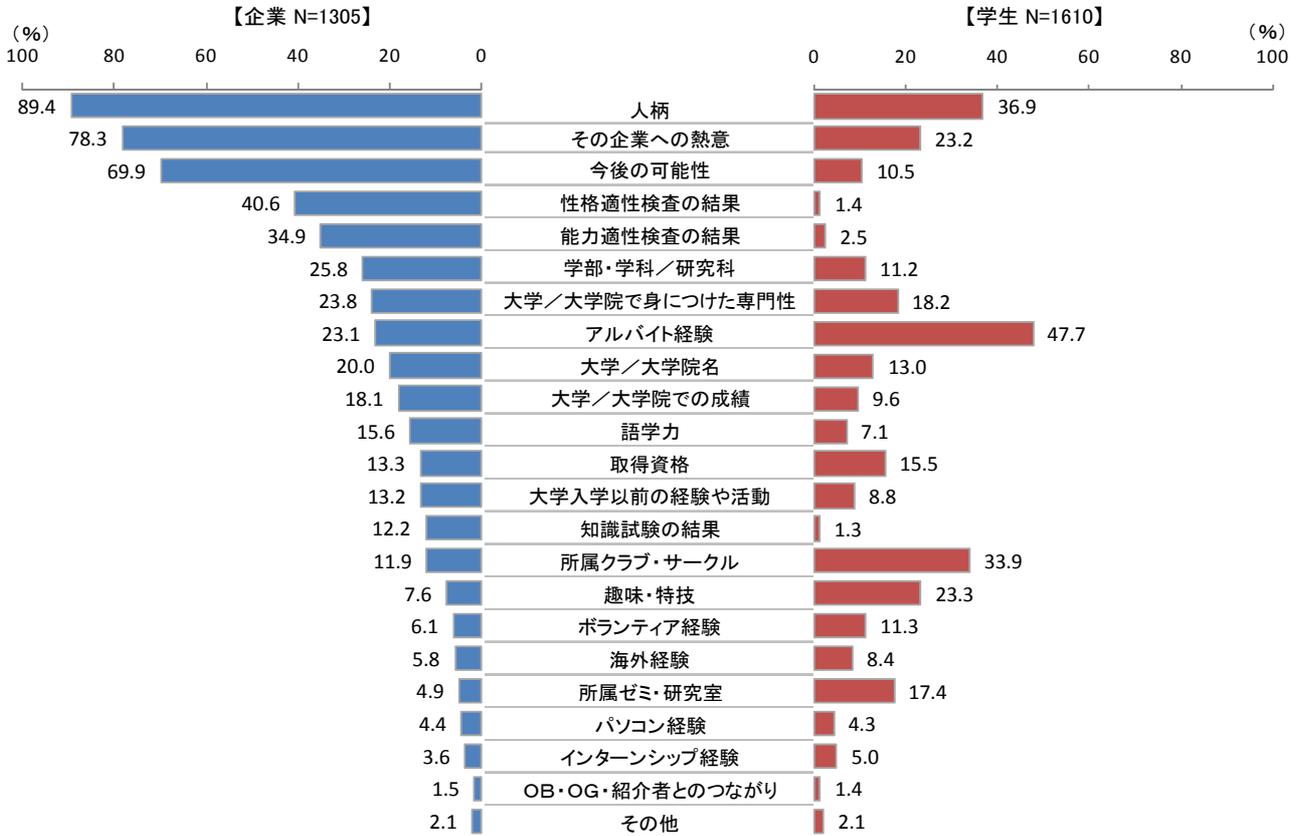
	「企業」-「学生」 の差
働く意欲	14.9
学力	16.8
将来のビジョン	-4.0
自己分析	0.0
業界研究	-2.6
仕事・職種研究	-6.6
企業研究	1.6

※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない

2) 企業が採用基準で重視する項目、学生が面接等でアピールする項目

企業が採用基準で重視する項目と、学生が面接等でアピールする項目を比較する。
 企業が重視している項目は「人柄」「その企業への熱意」「今後の可能性」が圧倒的に高かった。
 一方、学生がアピールしている項目は、「アルバイト経験」「人柄」「所属クラブ・サークル」の順となった。

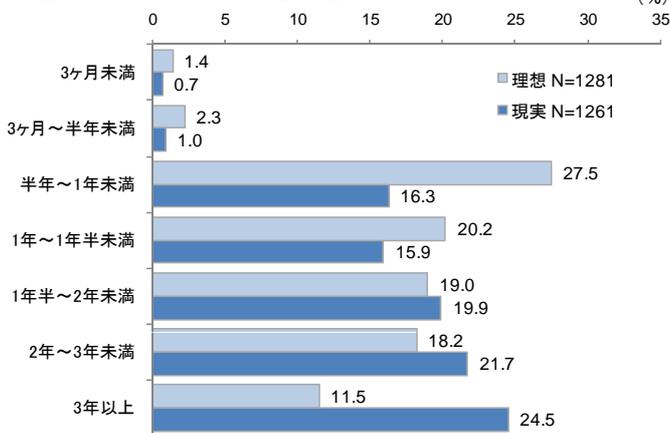
■企業が採用基準で重視する項目と学生が面接等でアピールする項目(複数回答)



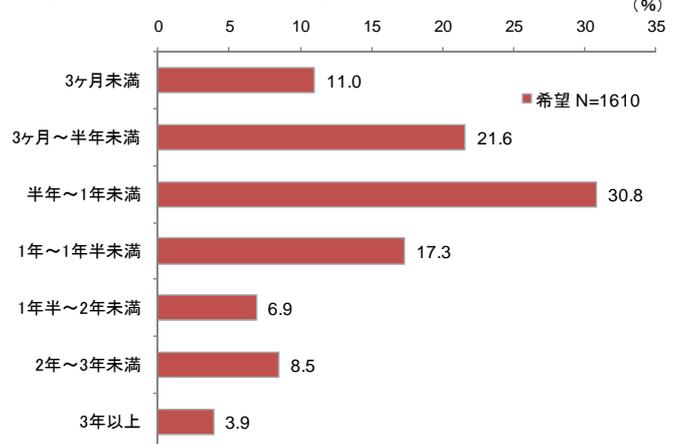
3) 企業の戦力化への理想と現実、学生の戦力になりたい希望

新卒入社者が戦力になるまでの期間について、企業には「理想」と「現実」、学生には「希望」を聞いた。
 企業が「理想」とする期間では「半年～1年未満」がもっとも多く、次いで「1年～1年半未満」となったが、「現実」はそれよりも長い「3年以上」がもっとも多くなった。
 一方、学生の「希望」は「半年～1年未満」がもっとも多くなった。

■企業の戦力化までの理想と現実(全体/単一回答)



■学生の戦力化までの希望(学生全体/単一回答)



※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない

1) 全体的な活動スケジュールの見通し

2015年卒の2014年卒と比較した全体的な活動スケジュール時期の見通しは、「同じ」が66.8%と最も多いものの、「早くなる」が26.6%と、2014年卒よりも3.9ポイント増加した。その見通しの背景は、「より優秀な人材の確保」が75.3%と非常に多く、次いで「2014年卒の反省」となった。

■2015年卒の全体的な活動スケジュールの時期における
2014年卒との比較(前年採用実績企業/それぞれ単一回答)



■2015年卒の採用スケジュールが変化する見通しの背景
(時期が変化する回答した企業/それぞれ複数回答)

順位	早くなる(N=320)	遅くなる*(N=41)
1位	より優秀な人材の確保 75.3	2014年卒の反省 34.1
2位	2014年卒の反省 49.4	スケジュール変更の可能性の影響 29.3
3位	採用人数の増加 19.1	倫理憲章の改定の影響 26.8

□2014年卒の2013年卒の比較



2) 外国人留学生等の採用実施の見通し

2015年卒に対する採用対象ごとの実施の見通しについて、「日本の大学(院)卒の外国人留学生採用」「海外の大学(院)卒の外国人学生採用」「海外の大学(院)卒の日本人留学生採用」「既卒者の採用」について見る。

2014年卒の実施状況と比較すると、いずれも2015年卒の「実施予定」が上回っており、特に既卒者の採用については、12.3ポイントの差があった。

■2015年卒新卒採用における外国人留学生等の採用実施の見通し(それぞれ単一回答)

	日本の大学(院)卒の外国人留学生採用				海外の大学(院)卒の外国人学生採用				海外の大学(院)卒の日本人留学生採用				既卒者の採用			
	N	実施予定	実施しない予定	未定	N	実施予定	実施しない予定	未定	N	実施予定	実施しない予定	未定	N	実施予定	実施しない予定	未定
全体	771	30.5	46.0	23.5	709	13.3	60.9	25.8	721	21.4	47.9	30.8	779	39.0	40.1	20.9
従業員規模																
300人未満	117	11.1	71.8	17.1	112	1.8	83.9	14.3	113	4.4	73.5	22.1	122	33.6	51.6	14.8
300~999人	240	22.5	51.3	26.3	225	7.6	70.2	22.2	225	16.4	53.3	30.2	245	31.4	44.9	23.7
1000~4999人	248	38.7	35.9	25.4	223	16.6	49.8	33.6	227	25.6	37.9	36.6	252	42.9	34.5	22.6
5000人以上	71	57.7	21.1	21.1	64	40.6	28.1	31.3	67	49.3	22.4	28.4	72	58.3	25.0	16.7

■2014年卒新卒採用における外国人留学生等の採用実施状況(それぞれ単一回答)

	総数(N) 今回/前回	日本の大学(院)卒の外国人留学生採用			海外の大学(院)卒の外国人学生採用			海外の大学(院)卒の日本人留学生採用			既卒者の採用
		実施予定	実施しない予定	未定	実施予定	実施しない予定	未定	実施予定	実施しない予定	未定	
全体	1124/889	20.9	(-1.6)	6.6	(0.3)	11.2	(-1.4)	26.7	(-5.7)		
従業員規模											
300人未満	240/193	5.0	(-3.3)	0.8	(-2.8)	2.1	(-3.6)	16.7	(-11.3)		
300~999人	366/321	16.1	(-2.3)	4.6	(2.5)	8.7	(-0.6)	23.2	(-4.2)		
1000~4999人	315/240	32.1	(0.0)	8.9	(0.1)	14.6	(0.0)	31.7	(-2.8)		
5000人以上	85/62	43.5	(-1.6)	21.2	(-1.4)	30.6	(-8.1)	50.6	(-10.7)		

■2014年卒の実施状況と2015年卒の実施見通しとの差

	日本の大学(院)卒の外国人留学生採用	海外の大学(院)卒の外国人学生採用	海外の大学(院)卒の日本人留学生採用	既卒者の採用
全体	9.6	6.7	10.1	12.3
従業員規模				
300人未満	6.1	1.0	2.3	16.9
300~999人	6.4	2.9	7.7	8.2
1000~4999人	6.6	7.7	10.9	11.1
5000人以上	14.2	19.4	18.7	7.7

※カッコ内の数値は前回調査との差
※データは無回答サンプルを除いて集計
※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない

3) 採用基準の見直し/採用数が満たなかった場合の対応予定

2015年卒の採用基準の見直しは「2014年卒並み」が73.8%と、もっとも多かった。採用数が満たなかった場合の対応について、2015年卒では「未定」が4割近くであるものの、「採用数に満たなくても求める人材レベルは下げない」が51.9%と、半数を超えた。ただしその値は前年より4.0ポイント減少した。

■2015年卒の採用基準の見直し(前年採用実績企業/単一回答)

		(%)			
		厳しくなる	2014年卒 並み	緩くなる	未定
●凡例					
2015年卒	N=1227	16.5	73.8	2.3	7.4
2014年卒	N=953	17.0	76.1	1.2	5.8

□従業員規模別に見た、2015年卒の採用基準の見直し

		(%)				
		総数 N=今回/前回	厳しくなる	2014年卒 並み	緩くなる	未定
全体		1227/953	16.5 (-0.5)	73.8 (-2.2)	2.3 (1.1)	7.4 (1.6)
従業員 規模	300人未満	242/190	16.9 (-3.1)	73.6 (-2.2)	1.2 (0.2)	8.3 (5.1)
	300~999人	402/353	17.9 (3.5)	72.1 (-6.0)	3.5 (1.8)	6.5 (0.8)
	1000~4999人	357/270	15.1 (-3.0)	76.2 (1.0)	1.7 (0.6)	7.0 (1.4)
	5000人以上	90/66	8.9 (-7.8)	77.8 (5.1)	1.1 (1.1)	12.2 (1.6)

■2015年卒の採用数が満たなかった場合の対応予定(前年採用実績企業/単一回答)

		(%)		
		採用数を満たすため に基準を見直し、 柔軟に対応する	採用数に満たなく ても求める人材 レベルは下げない	未定 (その時の状 況による)
●凡例				
2015年卒	(N=1170)	9.8	51.9	38.3
2014年卒	(N=900)	8.9	55.9	35.2

□従業員規模別に見た、2015年卒の採用数が満たなかった場合の対応予定

		(%)			
		総数 (N=今回/前回)	採用数を満たすため に基準を見直し、 柔軟に対応する	採用数に満たなく ても求める人材レ ベルは下げない	未定 (その時の状況に よる)
全体		1170/900	9.8 (0.9)	51.9 (-4.0)	38.3 (3.1)
従業員 規模	300人未満	224/178	10.3 (0.7)	50.0 (-7.3)	39.7 (6.6)
	300~999人	385/331	9.4 (-1.5)	51.4 (-3.3)	39.2 (4.8)
	1000~4999人	347/257	10.1 (1.5)	53.6 (-3.2)	36.3 (1.7)
	5000人以上	88/66	4.5 (4.5)	47.7 (-6.8)	47.7 (2.3)

※カッコ内の数値は前回調査との差
 ※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない